

## 安全上のご注意

### 警告

- 煙が出ていたり、変な臭いが出るときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落としたり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

### 設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶、コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。
- 閉め切った自動車内・ストープなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を作動させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

### 注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストープのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

### ACアダプターについて

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付けた面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のACアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- ACアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

### バッテリーについて

- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にしてください。電極（+端子と-端子）に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

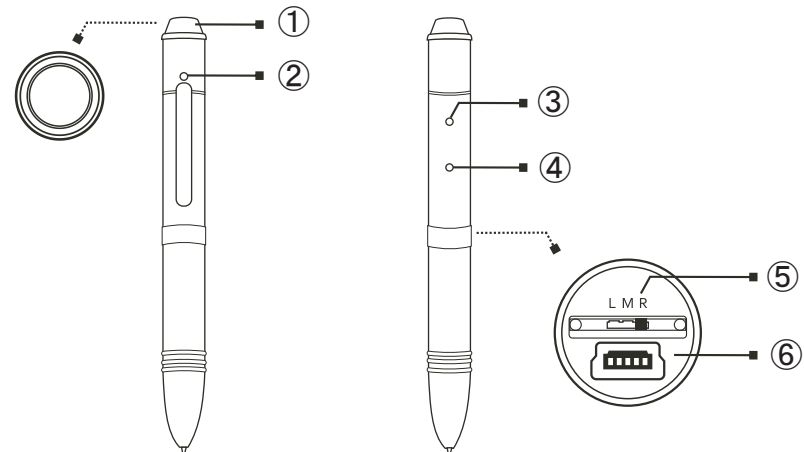
### 免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。

## 各部名称

- ① 電源スイッチ：電源の入/切が出来ます  
電源スイッチを2秒以上押し放すと赤から青のランプが点灯し電源が入ります  
電源が入っている状態で押すと動画/静止画保存を開始します  
青ランプが点灯し赤ランプが点滅している時は 動画モードで保存中です  
青ランプが点灯し赤ランプが1回光ると静止画が保存された合図です  
音声モードの場合は 音に反応して自動で電源が入り録画が開始されます
- ② レンズ：カメラのレンズです
- ③ ランプ：青と赤で光り起動状態がわかります
- ④ リセット：本体がフリーズした時などに針のような物で押してください
- ⑤ LMR：モード切替スイッチ  
R：動画モード  
M：写真モード  
L：音声コントロール録画モード 45db以上の音を感知し録画します
- ⑥ USB：付属のUSBケーブルを挿しPCと接続できます

本製品は充電後 使用しなくても放電し充電が無くなります  
録画を開始する直前まで充電しておく事をお勧めします



PCでX1帳を開きます

Windows XPの場合 29-1→すべて07070707→707セサリ→X1帳

ファイル名を time.txt にします

そのファイルの中に 日付/時間を書き込み保存します

例 2009.09.30 18:10:50 Y (半角入力)

日付と時間の間は2^へ-2が必要です

時間とYの間は2^へ-2が必要です

最後にYを入れると録画内容に日付が表示されますが Nを入れると表示されません

PCに本体を接続した状態でPCで作成したファイルを本体に保存して<<ください

PCとの接続を外し本体の電源を入れた時に日付/時間が更新されます

## 再生

本体をPCに接続する前に電源がOFFになっていることを確認して<<ください

本体を付属のUSBケーブルと接続しPCのUSBポートに挿して<<ください

PCに接続し認識されたら リム-パブリティス2→と表示されます

リム-パブリティス2→DCIM→100DSCIM7フォルダを開くと動画ファイルがあります

ファイルをダブルクリックすると再生が始まります

もし再生中 動きが遅い音声が途切れるなどの症状が出た場合 USBの読み込みに

時間がかかり動きが遅くなっていると考えられますので そのファイルをPCに

コピー又は移動してから再生して<<ください

静止画

リム-パブリティス2→DCIM→100DSCIM7フォルダを開くと静止画ファイルがあります

PCでX1帳を開きます

Windows XPの場合 29-1→すべて07070707→707セサリ→X1帳

ファイル名を time.txt にします

そのファイルの中に 日付/時間を書き込み保存します

例 2009.09.30 18:10:50 Y (半角入力)

日付と時間の間は2^へ-2が必要です

時間とYの間は2^へ-2が必要です

最後にYを入れると録画内容に日付が表示されますが Nを入れると表示されません

PCに本体を接続した状態でPCで作成したファイルを本体に保存して<<ください

PCとの接続を外し本体の電源を入れた時に日付/時間が更新されます

## 再生

本体をPCに接続する前に電源がOFFになっていることを確認して<<ください

本体を付属のUSBケーブルと接続しPCのUSBポートに挿して<<ください

PCに接続し認識されたら リム-パブリティス2→と表示されます

リム-パブリティス2→DCIM→100DSCIM7フォルダを開くと動画ファイルがあります

ファイルをダブルクリックすると再生が始まります

もし再生中 動きが遅い音声が途切れるなどの症状が出た場合 USBの読み込みに

時間がかかり動きが遅くなっていると考えられますので そのファイルをPCに

コピー又は移動してから再生して<<ください

静止画

リム-パブリティス2→DCIM→100DSCIM7フォルダを開くと静止画ファイルがあります

本体の電源をONにした状態でPCに接続すると

WEBカメラとして利用も可能です(音声不可)

PCに本体をマイツチMの状態です

DRIVERフォルダがありますのでPCにコピーして下さい

ドライバ-インストール後 PCに本体をマイツチRにし

接続するとWEBカメラとして利用できます

対応 OSは Win XP,Vista です

WEBカメラ使用時 320×240 約8万画素

## 録画モード

R：動画モード 1280×960 約1.22万画素 約307L-M-JPEG

M：写真モード 1600×1200 1.92万画素 JPEG

L：音声コントロ-ル録画モード 45db以上の音を感じ録画します

内蔵フラッシュメモリ-8GB (交換不可)

静止画 約3000枚

動画保存 1回の連続録画 約20分で約1.5GB 合計 約100分

録画中に赤、青ランプで点滅した場合 充電容量が少ない合図です

## 充電

充電方法は2つあります

1. PCとUSBケーブルで本体を接続し充電

2. ACアダプターにUSBケーブルを接続し本体にも接続し充電

付属のUSBケーブルを本体に挿し反対側を

アダプター(PC)に 挿すと充電が開始します

この時電源スイッチはOFFにして<<ください

赤ランプが点滅しているとき充電中です

充電式リチウムイオン電池

充電目安時間：約 1時間 連続使用目安時間：約 20分